



お万の船の周りにハマユウの苗を植栽。きれいな花が楽しみです

この度、白迫松彦さん(西平)からハマユウの苗を提供いただいたのありがとうございます。お話をいただき、去る6月7日、クリーン作戦の後、皆さんの協力によりお万ヶ池公園内に植栽しました。大江地区では、須賀無田に多く生息し群生地として知られていましたが、現在では少々残るだけ。白迫さん、以前の群生地を取り戻したいとの思いから、3年前から自宅庭先にあるハマユウの実をポットに移し、丹精を注いでおられ、今回500鉢の苗を頂きました。

ハマユウの苗500本 お万ヶ池周辺に植栽

この後、ブラッシング指導が行われ、児童・保護者みなが体育館に集まり、学校歯科医の森口先生の指導に耳を傾けました。実際に歯磨きを始め、保護者と一緒になってお互いの磨き方をチェックしました。私も保護者として参加させてもらい、とても貴重な時間を過ごさせて頂きました。これから先生

の世代にも引き継いでいくということが、「重要文化的景観」の基本となるべきです。「重要文化的景観」の選定を目指すということは、現在の景観を活かした地域づくりを行うことになり、護るための地域体制づくりも必要です。今後、景観を護りながら観光振興を図るためにはどうすればいいか、地元住民と行政等が一緒に知恵を出し合い、最善の方法を考えたいことが課題となります。自分たちが現在生活している地域のどんなところが、なぜ素晴らしいのか、また、景観が壊れている箇所はどのあたりか、その原因は何なのか、改めて見つめ直すことが必要ではないでしょうか？

大江小学校給食試食会 & 親子ブラッシング

6月25日、大江小学校で給食試食会とブラッシング指導が行われました。給食試食会にはたくさん保護者が参加し、子どもたちと一緒においしい給食に舌鼓。子どもたちはいつも以上に笑顔で楽しい会話しながら、保護者は懐かしい気分で給食を楽しみました。

裁されており、現在広く繁殖し、花の見頃には園内で訪れる人の目を惹きつけています。今回の苗は、お万の船のまわりと須賀無田側の道路沿いに植えてあります。今梅雨で一層生き生きとよみがえりましたので、花の見頃(7、8月)にはきれいな花が楽しめます。

老人会からのお知らせ

先日のことですが、老人会長という立場でしようが、市教育委員会や世界遺産登録推進室職員と熊本大学院の2名の学生がお出になり、昔話について聞き取り調査がありました。田畑に何を作っていたか、またどのくらい作っていたかなど、甘藷や水稲などの作付け面積とその収穫量などについて尋ねられました。60年前の農地調査のようなもので、若い頃のことであり、はっきりとした話はでき



森口先生にブラッシング指導を受ける親子(写真提供/大江小学校)

輝く青春のメッセージ 『3年間のバレー』



天草中女子バレー部
キャプテン
田中りん

私たちの中体連の目標はベスト8に入ることでした。中体連は3年生にとって最後の試合。力いっぱいプレーすることができました。今の3年生が入部したときはたったの3人。3人で声を出し、体育館を走り回っていました。

新チームになり、キャプテンも決まり、コートに入ってバレーをすることで今までとは違うつらさを味わいました。しかし、チームの中での声や保護者の方々の声援が心の支えとなり、今まで続けてこれられました。とても感謝しています。

1・2年生はベスト4という新たな目標のために自分なりの努力をし、一日一日の時間を大切に頑張ってくださいと思います。

皆さんご承知かと思いますが、大江は高齢化率が38%を超えています。高齢化は大江地域だけでなく進んでいます。老人会としての活動の場も必要かと思いますが、なかなか理解が得られていない状況にあります。老人会がない地区におきましては、結成を望むところです。今年の老人会行事として、先

日6月23日に、河浦の温泉へ行ってきました。これから毎月毎に実施する計画でありますので、皆さん参加ください(8月は休み)。

祇園老人会 日渡一徳

重要文化的景観への取り組みについて

【その2】

前回、「重要文化的景観」について説明しましたが、今回は「景観を護る」ということと、「観光」との関係について簡単に説明します。

文化的景観の基本とは

「世界遺産」も「重要文化的景観」も現在ある景観を護るための1つの手段です。「重要文化的景観」の選定を受けるためには大江地区の景観が日本国内でも特色あることを調査・証明しなければなりません。選定後はそれを見るために観光客が増えることは期待できますが、あくまでも現在の景観を護り後世



まちを歩いて発見！

その1つのきっかけとして、まちあるきワークショップ「大江のまちの〇と×」を8月1日(土)に開催します。当日は大江小学校の子どもたちと地域の皆さん、熊大の学生、市職員と

グループをつくり、子ども目から見た大江の町のいい所、悪い所を歩いて回ります。

この結果については、9月初旬に「報告会」を開催し、発表する予定です。ワークショップに参加いただけなかった方も、報告会にはぜひ出席していただき、大江の景観や将来について、幅広いご意見をお聞かせいただければと思います。



出陣者のひるふ



元氣にがんばってます！
東京大江会のなかま
東京大江会 会長 松村 諭

毎日、鬱陶しい日々が続いています。天草大江の皆様方へ健勝お暮らしのことと思います。私たち大江出身で関東在住のなかまも勤務に励んでいます。特に若い方は、昨年から金融危機の影響で百年に一度といわれる景気後退の中、がんばって勤務に励んでいます。老後の余生を送っていらっしゃる方もいます。天草の百姓を思い、今の時期はキュウリやトマトを栽培し、その出来栄を自慢に話しています。

さて、7月12日に東京高浜会があり、私のほか木田、山下、川口事務局長で出席して参りました。高浜会には40周年の節目を迎え、天草支所長、高浜振興会、また西岡前支所長が出席され、大変盛況でした。大江会も7月25日に総会反省会に加えて、暑気払いを品川フリスにて開催する予定です。また11月には大江出身で経営されています熱海の堀田旅館さんへの旅行も計画しています。これから若い人たちが中心になり、東京大江会の親睦を図りたく思っています。また、大江地域づくり振興会の皆様方も、故郷天草大江が益々発展するようご協力をお願い致します。

消防夏期合同訓練

むし暑い日が続く日差しの中、7月12日に消防夏期合同訓練が行われました。今年は6月に発生した狸山(高浜)での山林火災を教訓に、中継送水訓練を行いました。総合運動公園横の河川を水利としてポンプ4台を中継。それぞれに分画を配置してトランシーバーで連絡をとりながら無駄のない動きで指示を出し訓練が進められました。

また放水競技もあり、時折の吹き付ける南からの強風に苦戦しながらも上空18mに吊るされたかごに向かって放水。中にある2つのボールを落とすため日頃の訓練の成果を発揮していました。結果は第4分団(大江)の優勝は逃したものの、2つの部が2位・3位を獲得するなど優秀な成績を収めました。

なお消防団では消火栓等の取り扱い指導も行っています。気軽に相談ください。(文・丸木太二)